

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他登録／共通教育ゼミナール2 (LAESProject Seminar 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	サイエンスコミュニケーションの実践と評価		
担当者名 (Instructor)	古澤 輝由(FURUSAWA KIYOSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SCI4220	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	随意科目		

授業の目標(Course Objectives)

サイエンスコミュニケーションの一連の実践スキルを身につけ、そのサイクルを回せるようになることを目指す。

Students are expected to obtain practical skills for Science Communication and aim for applying an experiential learning cycle and a practical cycle.

授業の内容(Course Contents)

「科学を伝える、科学について共に考える場を作りたい！でもどうしたら？」

このゼミナールでは、サイエンスコミュニケーションに関する企画、実施、そして振り返り・分析・評価を行うことを通じて、その実践スキルを養います。振り返りを通じて得た改善点を次の企画、実施に活かすことで、サイエンスコミュニケーション実践のサイクルを回すことを目指します。テーマ、実施形態、及びスケジュールは、履修者と相談の上決定します。

※共通教育ゼミナール1での経験を活かした継続履修が望ましいですが、新規履修も受け入れます。

How can we create opportunities to communicate science and to think about science for our society together? In this course, students will implement a planning Science Communication project, carrying out the plan and reflecting, analyzing, evaluating it. And students aim for applying an experiential learning cycle and a practical cycle of Science Communication by using the result of the reflection. The theme and schedule will be decided by the discussion with students.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 先行研究、事例研究
3. 先行研究、事例研究
4. 先行研究、事例研究
5. 企画、実施準備
6. 企画、実施準備
7. 企画、実施準備
8. 企画、実施準備
9. 企画、実施準備
10. 実施
11. 振り返り・分析・評価
12. 振り返り・分析・評価
13. 振り返り・分析・評価
14. 成果発表、まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

企画準備、実施は授業外の時間にもおよび可能性が高い。各回、それぞれの企画進捗の共有を行う。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業への参加(50%)/企画の実施・成果発表(50%)

テキスト(Textbooks)

授業内で指示する。

参考文献(Readings)

授業内で指示する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

履修者と相談の上「共通教育ゼミナール1、2」を通じた通年の企画として実施する可能性もある。

※履修希望者は事前に担当教員に連絡の上、申請すること。

注意事項(Notice)